

'14



後期日程

保健体育問題

(教育学部)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題に落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 受験番号は答案用紙の所定の欄に記入してください。
4. 解答は指定の答案用紙に記入してください。
5. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
6. 答案用紙は持ち帰ってはいけません。
7. 時間は60分です。

1 次の(1)(2)(3)の質問にそれぞれ答えなさい。

(1) スポーツの多くが19世紀のイギリスで誕生しましたが、次にあげるスポーツの中で、イギリス以外で成立したスポーツが1つあります。番号で答えなさい。

- A. 陸上競技
- B. バスケットボール
- C. サッカー
- D. 卓球

(2) 上記(1)で答えとしたスポーツは、どこの国で誕生したのでしょうか。番号で答えなさい。

- A. 日本
- B. ドイツ
- C. アメリカ
- D. 中国

(3) イギリスで誕生したスポーツの中で重視された考え方にスポーツマンシップがあります。どのような考え方なのか、簡単に説明しなさい。

2 熱中症の症状と応急手当ての方法について、以下に示す語句をすべて使用して説明しなさい。語句は複数回使用してもかまいません。

(1) 熱中症の症状

【使用する語句】 熱射病, 熱失神, 体温上昇, 意識障害, 嘔吐

(2) 熱中症の応急手当て

【使用する語句】 意識障害がある場合, 意識障害がない場合, 水分摂取,
医療機関

- 3 次の文章の()内に下記の選択肢ア～ト)より適切なものを選び、文章を完成させなさい。

ヘルスプロモーションとは、(①)が(②)憲章(1986年)のなかで提唱した概念です。そこでは、つぎのようにうたわれています。「ヘルスプロモーションとは、人びとがみずからの健康を(③)し、改善できるようにする(④)である。身体的・(⑤)・社会的にバランスのとれた(⑥)な状態を達成するためには、個人や集団が(⑦)を確認し、(⑧)を満たし、(⑨)を改善し、(⑨)に対処することができなければならない。それゆえ、健康は生きる目的でなく、毎日の生活の資源である。健康は身体的な(⑩)であると同時に、社会的・個人的資源であることを強調する積極的な概念なのである。」

【選択肢】

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| ア) アル・マアタ | イ) 命 | ウ) オタワ |
| エ) コントロール | オ) 災 害 | カ) ジュネーブ |
| キ) 相 関 | ク) 生涯教育 | ケ) 世界保健機関 |
| コ) プロセス | サ) ヘルシンキ | シ) ユネスコ |
| ス) 楽天的 | セ) 環 境 | ソ) 京 都 |
| タ) 精神的 | チ) 望 み | ツ) 能 力 |
| テ) 欲 求 | ト) 良 好 | |

- 4 次の(1)(2)の質問にそれぞれ答えなさい。

- (1) 「体ほぐしの運動(体育編)」のねらいは3つあります。それぞれ、説明しなさい(順不同)。
- (2) 上記(1)のねらいを2つ以上満たす「体ほぐしの運動」の具体的な運動例を2つあげなさい。